



## 助けあい物語賞

### 作文・エッセイの部 大賞受賞作品

「おばあちゃん ありがとう」

取手市立取手西小学校 第5学年

高橋 ここみ

94才でとっても元気だった私のひいおばあちゃんは、転んで足の骨を折ってねたきりになってしまいました。

ママは、毎日笑顔で「今日は体調どう？痛いところはないかな？」と声をかけます。おばあちゃんはうれしそうです。おばあちゃんがどんなにひどくなくても、ママは一日中つきっきりで体をさすったり、食事を食べさせたりします。

「ママ大変だね。」と私が言うと、

「小さい時たくさんかわいがってもらったの。そしてたくさんおむつもかえてもらったよ。今度はママがおばあちゃんにしてあげられるばんだね。」と笑顔で言います。そんなママと私をおばあちゃんは「ありがとう。」と強く抱きしめます。とっても幸せで心があたたかくなります。ママと私はおばあちゃんから毎日たくさんのお優しくさと愛をもらっています。

おばあちゃんに会えるのが楽しみで学校から急いで帰ってきます。手にぎりながら一日あったことをたくさんお話しします。

日に日に弱っていくおばあちゃんを見ているのはとてもつらかったけど、いっしょにすごした時間はとても大切なやさしさを感じる毎日でした。

私のことを一番に考えてくれるおばあちゃん。とっても大好き。

おばあちゃん「ありがとう。」

### この作文を書いた理由

おばあちゃんに愛と優しさをたくさんもらっているの、感しゃの気持ちを伝えたかったからです。